

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

|                     |  |   |         |           |               |
|---------------------|--|---|---------|-----------|---------------|
| 事業名                 | 通常砂防事業   |   | 路河川名等   | (砂)くるみ沢   |               |
| 事業毎の通番              | 2  | 市町村名  | 長和町     | 箇所名(ふりがな) | 上和田(かみわだ)     |
| 事業目的                | 本溪流は小県郡長和町の和田に位置する流域面積0.05km <sup>2</sup> の土石流危険渓流Ⅰである。河床勾配が急峻で、次回降雨で直下に存在する人家247戸、要配慮者利用施設(8施設)、避難所(6施設)、緊急輸送路に指定されている国道142号等に被害のおそれがある。<br>渓床には崩土が堆積、また、転石も多数存在しており、豪雨時における土石流の発生が懸念されるため、砂防堰堤を整備し、土砂災害の防止を図りたい。 |   |         |           |               |
| しあわせ信州創造プランにおける位置付け | 4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)  | 事業実施の根拠法令等  | 砂防法     |           |               |
| 関連する事業、計画等          | なし   |   |         |           |               |
| 保全対象・範囲<br>受益対象・範囲  | 人家247戸、国道142号(緊急輸送路)、要配慮者利用施設8施設(内、重要施設1施設)、避難所6施設、町道  |   |         |           |               |
| 着手年度                | 平成30年度   | 事業期間  | 5年間     | 事業費(千円)   | 財源内訳(千円)      |
| 完成年度(見込み)           | 平成34年度   | 費用対効果   | 76.2    | 国庫        | その他 県債 一般財源   |
| 全体事業内容(主な工種)        | 砂防堰堤工 1基<br>溪流保全工  |   | 200,000 | 100,000   | 90,000 10,000 |
| 事業効果                | 直接的効果(定量的・定性的)<br>人家247戸、国道、要配慮者利用施設、避難所、町道の保全が図られる<br>間接的効果(定量的・定性的)<br>県、町の緊急輸送路である国道を保全することで、災害時の輸送が確保される<br>避難所、要配慮者利用施設を保全することで、住民の安全が確保される<br>土砂災害特別警戒区域の指定が解除される  |   |         |           |               |
| 評価の視点               | 必要性  | 【保全人家戸数】 247戸<br>【保全公共施設】 国道142号(緊急輸送路、L=960m)他多数<br>【要配慮者利用施設】 要配慮者利用施設8施設(内、重要施設1施設)<br>【避難場所・避難路】 避難所6施設、国道142号(緊急輸送路)             | 評価      | A         |               |
|                     | 重要性  | 【災害履歴】 昭和34年土石流災害<br>【交通影響】 国道142号(緊急輸送路)<br>【位置付け】 長野県、長和町両方の地域防災計画に記載あり。  | 評価      | A         |               |
|                     | 効率性  | 【費用対効果】 76.2<br>発現) 事業期間:5年<br>【工法等比較検討】 堰堤形式を比較検討する予定(概略設計発注予定)<br>【総合調整】 保安林が無いことを林務部に確認済   | 評価      | A         |               |
|                     | 緊急性  | 【地形地質】 地質が脆弱(火山岩)<br>【流域植生】 放置林<br>【平均渓床勾配・土砂整備率】 勾配:10°以上<br>【危険地区】 土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域あり  | 評価      | B         |               |
|                     | 計画熟度   | 【情報共有】 長和町に事業を説明。<br>【地域要望】 隣接する沢(日向沢、くるみ沢1、狐穴沢)において、堰堤を設置していることからニーズがあると判<br>【合意形成】 事業化の後に説明を予定。<br>【住民参加】 平成26年度に、地区防災マップを作成(久保、仮宿) | 評価      | B         |               |
|                     |  | 当該溪流の保全対象には地域防災計画に位置づけられている緊急輸送路及び避難施設、避難所が立地しているため、速やかな土砂災害対策が必要である。   | 採択状況    | 総合評価      | O A           |
| 技術管理室意見             | 部局の意見を適当と認める。  |   |         |           |               |

**位置図**

**平面図**

**事業概要説明図表**

**①**

**②**

**事業概要説明図表**

|                     |  |
|---------------------|--|
| ①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 | 流域面積0.05km <sup>2</sup> の土石流危険渓流Ⅰである。河床勾配が急峻で、次回降雨で直下に存在する人家247戸、要配慮者利用施設(8施設)、避難所(6施設)、緊急輸送路に指定されている国道142号等に被害のおそれがある。<br>渓床には崩土が堆積、また、転石も多数存在しており、豪雨時における土石流の発生が懸念されるため、砂防堰堤を整備し、土砂災害の防止を図りたい。 |
| ②地域からの要望経緯及び地域の関わり  | 隣接する沢(日向沢、くるみ沢1、狐穴沢)において、堰堤を設置していることからニーズがあると判断。<br>なお、警戒区域内にある2地区(久保、仮宿)においては、地区防災マップを作成するなど、積極的な取り組みがあり、防災意識が高い地域である。  |
| ③事業説明等の経緯           | 長和町に事業説明済み(H29.4)。事業化後に、住民へ説明予定。   |
| ④他事業・プロジェクトとの整合、関連  | 上小管内において、土砂災害防止法に基づくソフト対策(地区防災マップの作成)について取り組んでいる。久保、仮宿以外の地区においても、地域の意向を確認しながら取り組んでいきたい。  |
| ⑤自然環境・生活環境への影響と配慮   | 周辺環境への影響を抑えることも観点に、設計・工法等の検討を行う予定。   |
| ⑥地域活性化への影響と配慮       | 本事業により、溪流の安全性が高まり民生の安定が図られ、地域防災力の向上が期待される。   |
| ⑦その他                | 砂防指定地申請予定  |

事業代表地点の緯度経度

|                   |
|-------------------|
| 北緯:N 36° 14' 25"  |
| 東経:E 138° 15' 28" |